

今後の公民館事業のあり方について（中間報告）

リニューアル後の教育福祉会館が目指す「誰もが集える みんながつながる 地域へ広がる」という理念を実現するため、現在、中央公民館では、今後の公民館事業のあり方について検討しております。

1 今後の公民館講座について

(1) 地域活動に貢献できる人材の育成

学びだけに留まらず、学習成果が地域活動につながるよう、これまで実施してきた公民館講座に、国が提唱する「人づくり・つながりづくり・地域づくり」の視点を含めた人材育成につながる公民館講座を推進する。

(2) 地域における公民館講座の展開

多くの市民に学習機会を与えることが出来るよう、これまで教育福祉会館を中心に実施してきた公民館講座に、各近隣センターを会場にした、より市民に身近な場所での公民館講座を展開する。

(3) ネットワーク型行政による公民館講座の展開

様々な市民・団体のニーズに適った生涯学習を展開するために、これまでの中央公民館主催講座に加え、行政部署・学校・ふるさと協議会などの地域団体等、様々な機関・団体と幅広く連携・協働を図る。

(4) 教福連携した公民館講座の展開

リニューアル後の教育福祉会館の特性を活かし、教育と福祉が融合した公民館講座を新たに展開する。

2 リニューアル後の教育福祉会館（中央公民館）に求められる生涯学習機能について

(1) 生涯学習相談機能の整備

活動団体の活性化や新たに活動団体を立ち上げようとする際に抱える様々な課題などに対応するため、リニューアル後の教育福祉会館において、生涯学習活動に関する相談体制を整備する。

(2) 生涯学習に関する情報の収集・発信機能の整備

機関・団体で個別に発信されている生涯学習情報を、リニューアル後の教育福祉会館が拠点となり、これら様々な生涯学習情報を幅広く収集し、活用しやすいよう管理し、必要とする市民・団体等に確実に届くよう発信する仕組みを構築する。